



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：イラク合意戦線（タワーフィク）政権離脱 （8月5日付現地報道）

1. タラバーニ大統領は4日の記者会見で、政治プロセスを進展させるためマリーキー首相と以下の原則を合意した旨を述べた。
 - (1) 挙国一致内閣を強化すること。
 - (2) 大統領評議会と閣僚評議会との間で署名された合意を堅守すること。
 - (3) スンニー派イラク合意戦線（タワーフィク）の要求に可能な限り応えること。
2. タワーフィクのスポークスマンは、「タワーフィクの政権への復帰は、将来における確かな政治の変化が保証される具体的且つ明確な兆しが見られるかどうかによる」と述べた。
3. タラバーニ大統領が、現在の政治的危機を回避するため、タワーフィク指導者を含めた主要政治勢力間会議の開催に向けて調整している。同会議では、憲法修正、石油法、非バアス化の見直し、タワーフィクの政権離脱問題を含めた意思決定プロセスについて協議する。
4. KDP 筋は、バルザーニ・クルド地方政府大統領が今後数日間行われる政治対話に参加のためバグダードに5日到着すると述べた。又、同筋は、バルザーニ氏がイヤード・アッラーウィ国民リスト代表（元暫定政府首相）と4日エルビルで会談したと述べた。
5. ジャッファリー前首相は、ダアワ党の何人かの支持者と共に新政治勢力の発足を近く発表する予定。
6. 5日午後、タラバーニ大統領、マリーキー首相、アブドル・マハディ副大統領による三者共同記者会見が開催され、マリーキー政権はタワーフィクの閣僚の政権離脱を拒否する旨が発表された。